

## 防災メモ 活火山の活動度による分類（ランク分け）

火山噴火予知連絡会（会長：井田喜明姫路工業大学教授）は、平成 15 年 1 月 21 日、これまでの活火山の定義を変更して新たに活火山を指定するとともに、活火山を 3 つのランクに分類する検討結果をまとめました。

活火山の定義変更ならびに新たに活火山に指定されました関東・中部地方の火山につきましては、1 月の火山活動解説資料の防災メモで掲載しました。

今月は、活火山の活動度による分類（ランク分け）について掲載します。

活火山の中には、とても活動的な火山から長期にわたって静穏な火山まであります。これらを全て同じように扱う訳にはいきません。そこで活火山を過去 100 年および過去 1 万年の活動度に基づいて 3 つのランクに分類しました（表 1）。関東・中部地方の新しい定義に基づく活火山と火山活動度による分類（ランク分け）を掲載します（表 2）。

表 1 活火山のランク分けの基準及び各ランクに分類された活火山の数（全国）

ランク	ランク分けの基準	活火山数
A	100 年活動度または 1 万年活動度が特に高い活火山	13
B	100 年活動度または 1 万年活動度が高い活火山	36
C	100 年活動度および 1 万年活動度がともに低い活火山	36

注：海底火山と北方領土の活火山（計 23 火山）については、データが不足していることから、分類（ランク分け）の対象とはしていません。

なお、この分類（ランク分け）は、過去の火山活動度に基づくものであって、噴火の切迫性や各火山の危険性を分類したものではありません。

表 2 関東・中部地方の新しい定義に基づく活火山と火山活動度による分類（ランク分け）一覧

備考	火山名	ランク	所在地	備考	火山名	ランク	所在地
	那須岳	B	栃木県	新規	利島	C	東京都
新規	高原山	C	栃木県		新島	B	東京都
	日光白根山	C	栃木県・群馬県		神津島	B	東京都
	赤城山	C	群馬県		三宅島	A	東京都
	榛名山	B	群馬県	新規	御蔵島	C	東京都
	草津白根山	B	群馬県	範囲	八丈島	C	東京都
	浅間山	A	群馬県・長野県		青ヶ島	C	東京都
新規	横岳	C	長野県		ペヨネース列岩	-	東京都
	新潟焼山	B	新潟県		須美寿島	-	東京都
	妙高山	C	新潟県		伊豆鳥島	A	東京都
	弥陀ヶ原	C	富山県	新規	嬬婦岩	-	東京都
	焼岳	B	長野県・岐阜県		西之島	B	東京都
新規	アカンダナ山	C	長野県・岐阜県	新規	海形海山	-	東京都
	乗鞍岳	C	長野県・岐阜県		海徳海山	-	東京都
	御嶽山	B	長野県・岐阜県		噴火浅根	-	東京都
	白山	C	石川県・岐阜県		硫黄島	B	東京都
	富士山	B	山梨県・静岡県		北福德堆	-	東京都
	箱根山	B	神奈川県		福德岡ノ場	-	東京都
	伊豆東部火山群	B	静岡県	独立	南日吉海山	-	東京都
	伊豆大島	A	東京都	独立	日光海山	-	東京都

\* 新規：新しく追加した活火山（7 火山） 範囲：従来の火山の範囲を変更した活火山（1 火山）

独立：従来の活火山（南硫黄島南東沖海底火山）の一部を分離独立させ、新たに追加した活火山（2 火山）